一生懸命がかっこいい

学校便り
発行
大城正章

教育目標
一　自ら学び深く考える生徒
一　明るく思いやりのある生徒
一　ねばり強くたくましい生徒

第４６回夏季総合体育大会

一生懸命な姿に感動

第46回国頭地区中学校夏季総合体育大会が6月1日(土)・2日(日)に行われました。9日(日)にはバドミントンの個人選考会が予定されています。

どの部も自分達が立てた目標に向かって一生懸命プレーする姿に、多くの応援団が感動をもらいました。

各競技の熱戦を各部の顧問・生徒の声からお知らせします。

女子ソフトテニス部

【団体戦】優勝

１試合目は金武中学校と対戦し、３－０で勝利。

２試合目は昨年の優勝校である大宮中学校と準決勝で対戦。前日に行った大宮中との練習試合で得た情報をもとに相手の動きを考えてプレイすることが出来ていた。また、ファイナルまで持ち越したペアもあり激戦の結果、２－１で勝利をおさめることが出来た。

３試合目の決勝戦では、強敵である名護中学校と対戦。続けての試合だったため、選手や応援する１・２年生の生徒たちも疲れのピークに達していたが、勝を目前に粘り強く全力で戦う姿が見られた。

結果、今回の**夏季総体では念願の優勝をすることができた。**今回の結果もとても嬉しいが、生徒たちの目指す目標は県大会での優勝なので、今回の試合での反省点を見つけ、これからの練習に取り組みたいと決意を新たにしている。

【個人戦の結果】

山城青空・上原優菜　優勝(県大会出場)

嘉数百合・崎枝亜紀　３位(県大会出場)

男子ソフトテニス部

男子テニス団体戦は、初戦大宮中学校に２－１で勝利し県大会を決ましめた。１番手の榎本・比嘉ペアは初戦の緊張の中、二人で声を掛け合いながら健闘しましたが、接戦で負けてしまいました。しかし２番手に良い流れで繋げる気迫あるプレーをしてくれました。２番手の長浜・城間ペアの息の合った攻守、長浜は相手を揺さぶる正確な返球が冴え、城間が相手の返球コースをついたボレーや甘い球を見逃さずスマッシュを決め勝利！３番手の玻名城・照屋ペアは２年生コンビで勢いに乗り初戦突破することができました。２回戦は第２シードの東江中学校に２－０で破れ、３・４位決定戦に進み、決定戦では惜しくも３番手のファイナルまで進みましたが羽地中学校に２－１で破れ４位で終わりました。

個人戦は長浜・城間ペアがベスト16でした。

大会前から保護者の皆さんには、サポートや声かけをしていただき、朝練や練習試合では暖かく見守っていただいています。大会でもたくさんの応援が生徒の気持ちをより強くしてくれました。ありがとうございました。

男女卓球部

男子団体戦は決勝トーナメントで１回戦名護中学校に０－３で敗退しましたが、３・４位決定戦では本部中学校に３－０で勝利し県大会へ出場となりました。キャプテンの神田拓飛を中心に気持ちを前に出してプレイする姿が見られたと共に、ダブルスを組んだ玉城希雅瑠、与那嶺小鉄の二人の動きが柔らかく息も合っていて、初ダブルスとは思えぬ試合展開でした。女子団体は２年生３人に１年生２名との事もありましたが、円陣を組んで気持ちを高めたり、声かけしたりと、試合中１年生の緊張をほぐそうと２年生がサポートする姿が多々見られました。

男女シングルスでは、３回戦まで神田拓飛、我那覇新が駒を進めましたが惜しくも敗退となりました。特に今回２年生の玉城希雅瑠が初戦(対戦相手は準優勝)でフルセットまで持ち越し惜しい試合をしていました。

沢山の応援ありがとうございました。